

**令和元年度  
新エネルギー産業（電池関連）創出事業補助金  
（第四次産業革命に関連する先端技術等の実証実験） 交付決定案件の概要**

※事業者名 五十音順

計画名称	太陽光発電事業者向け「AI コールセンター」に関する実証実験
事業者名（所在地）	株式会社エイワット（堺市）
概要	<p>当該事業者は、問い合わせ対応に専門性を必要とする太陽光発電事業におけるコールセンター業務について、既存のクラウドサービスを活用して、AI による全自動音声回答システムの構築を行っている。</p> <p>本事業では、実際にコールセンターへ集まる専門用語を含む問い合わせ内容の「音声データ」を収集し、それらのテキスト化の精度を検証する等の実証実験を行う。</p>

計画名称	スマートフォンによる VR 型の「新しい移動サービス」に関する実証実験
事業者名（所在地）	株式会社 toraru（大阪市）
概要	<p>当該事業者は、現地に行きたくても行けない人を現地にいる人と繋ぎ、スマートフォンによるライブストリーミングを使って疑似的な移動を実現する、体の移動を伴わない「新しい移動サービス」を提供している。</p> <p>本事業では、連携先の施設や個人宅、展示会場等から、この「新しい移動サービス」を使った時、実際にその場に移動したような感覚を体感できたか等の心理的な効果の測定、課題の洗い出しを行う等の実証実験を行う。</p>

計画名称	計測機能付き歩行器システムの実証実験
事業者名（所在地）	株式会社ピーティーエス（大阪市）
概要	<p>自立歩行をめざすリハビリテーションとして行われる、体重の負荷を軽減させて歩く免荷歩行訓練（練習）について、現在は定量的なエビデンスデータの蓄積がないため、患者一人一人の状態に合ったリハビリ計画の作成や歩行訓練の実施が困難な状況である。</p> <p>本事業では、現在開発中の、歩行訓練全般にわたって安全な訓練が実行できる計測機能付き IoT 歩行器により測定された歩行能力を定量的なエビデンスとして理学療法士等に提供し、適切なリハビリ計画の作成・歩行訓練ができるようにするシステムについて、実用化に向けた実証実験を行う。</p>

計画名称	エンジン式ハイブリッドドローンの実証実験
事業者名（所在地）	八洲電業株式会社（大阪市）
概要	<p>リチウムイオン電池とガソリンエンジン発電機を併用したエンジン式ハイブリッドドローンについて、現在、積載重量 10 kgの試作機の各種試験が終了し、積載重量 16 kgの量産試作が完成している。</p> <p>本事業では、ドローンなどのマルチコプターの応用分野を拡大するため、積載重量 16 kgの施策について、長時間空中で静止させるホバリングでの耐久テスト、雨中での飛行テスト、モーター及びプロペラの機能部品の耐久テストの評価等、商用化に向けた実証実験を行う。</p>